

水稲の病害虫防除と熱中症対策 〈中央地区〉

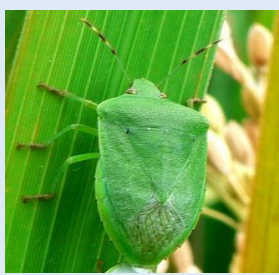
令和8年7月
東讃農業改良普及センター
東讃農業改良普及協議会

【**紋枯病**】 紋枯病が発生しやすい「あきさかり」の作付けほ場、昨年発生したほ場については、中干しの終わり頃に発生状況を確認し、**バリダシン液剤5等**で**確認防除を実施**しましょう。毎年発生するほ場では、予防的に**モンガリット粒剤等**を中干終了後に処理しておきましょう。

確認防除 いずれか	防除時期	使用薬剤	10a当たり散布量	使用時期
	発生初期	バリダシン液剤5	1000倍 60～150ℓ	収穫14日前まで、5回以内
	出穂20～25日前	モンガリット粒剤	3～4kg	収穫30日前まで、2回以内



【**斑点米カメムシ**】 この冬は暖冬で経過したことから、越冬成虫が多く注意が必要です。栽培しおりに記載の薬剤防除（必須2回目、3回目）を基準に、**適期防除**を行いましょ。また、**畦畔等ほ場周辺の除草**を行い、カメムシ類の発生源を少なくしましょ。ただし、出穂直前に行うと、カメムシ類のほ場への移動を促すことになるので、雑草の刈り取りを行う場合は、**出穂10日前まで**に行いましょ。また、休耕地はミナミアオカメムシの繁殖場所になるので、耕起等によって雑草の少ない状態を保ちましょ。



近年増加傾向。
出穂期に籾の基部を吸汁されると不稔籾となり減収する。

ミナミアオカメムシ ホソハリカメムシ アカスジカスミカメ クモヘリカメムシ イネカメムシ

【農作業中の熱中症対策】

全国では毎年約30名程度（**R6は59名と急増!!**）の方が農作業中の熱中症により亡くなられています。死亡事故の**約85%が7～8月に発生**しています。下記の**予防のポイント**を参考に予防に努めましょ。

- その1 暑さを避ける
高温時の作業は極力避け、日陰や風通しの良い場所で作業
- その2 休憩と水分補給
喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給
- その3 単独作業は避ける
複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う
- その4 アイテムの活用
帽子や吸湿速乾性衣類の着用、空調服や送風機の活用